



7月号
 令和8年7月1日
 堺市立東陶器小学校
 TEL 236-0036
 FAX 236-0020

「自分大好き 友だち大好き 学校大好き」 - 健やかな体の育成 -

校長 渡邊 耕太

1学期の終業式まであと3週間となりました。天候不順の梅雨の時期ではありますが、食事、睡眠を十分とり、全員が元気に終業式を迎えてほしいものです。そのためにも健康が第一。学力の向上、豊かな心の育成には、健やかな体が基盤になります。健やかな体の育成に向け、本校の教育活動では日頃の体育学習を軸として、さまざまな取組を行っています。

6月には新体力テストを行いました。新体力テストは、文部科学省が定めたこどもの体力や運動能力を測定するための1年に1回の調査で、国や各学校がこどもの体力の現状を正確に把握し、健康改善や体育の授業の充実につなげるために行っています。現在の新体力テストが導入される前は、主にスポーツテストや体力テストと呼ばれていました。1964年から始まったものですが、1999年に大幅な改定があり、以前行われていた連続逆上がり、ジグザクドリブル、踏み台昇降運動、立体体前屈はなくなり、現在は握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げが行われています。

本校の子どもたちは、どのような動きが得意で、どのような動きが不得意なのでしょう。昨年度の結果をみると、以下のような傾向になっています。

(得意な動き) 腹筋を伴う運動、俊敏な運動

(不得意な動き) 長く走り続ける力、体の柔軟性

昨年度は、調査結果を分析しながら、得意な動きをさらに伸ばし、不得意な動きを改善できるように体育学習の充実に取り組んできました。また、運動習慣をつけたり、長く走り続けたりするために、休み時間の外遊びを積極的に行ってきました。今年度も、結果分析したことを体育の学習に活かしながら、体力向上に努めていきたいと考えています。

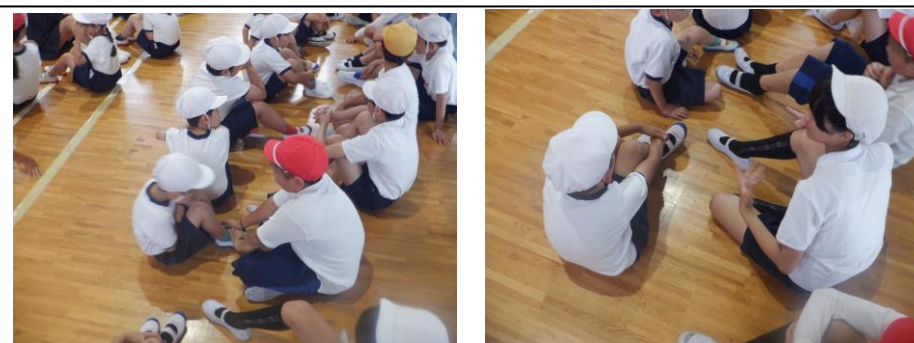
体育では、水泳学習を6月15日(月)から始めています。よく晴れた日に水の中に入ると気持ちよいものです。プールに入った子どもたちからも「気持ちよかった」「次のプールもたのしみ」という声が多く聞かれています。子どもたちの運動にかかる得意、不得意のことを考慮し、水泳学習でも指導方法を工夫しながら、学習を進めています。

子どもたちには水泳学習ではどんな力がつくのか、と聞いてみると、「長く泳ぐ力」「体全体を使い、浮くようにしっかりと手足を動かす力」「目標に向かってがんばる力」「危険なときにも対応できる力」などの答えが返ってきました。子どもにも水泳学習の目的が伝わっていると感じ、うれしく思いました。子どもたちが水に親しみ、粘り強くそれぞれの目標に向かって挑戦できるよう、細心の注意を払い、水泳学習を行っています。

保護者の皆さまには今度も健やかな体の育成に向けて、ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。



他学年どうしの交流



新体力テストでは、1年生は6年生と、2年生は5年生とともに動き、さまざまサポートをしてもらいました。

(上の写真) 新体力テスト測定に向けて、上級生にやりかたを教えてもらいました。

(下の写真左) 上体起こし測定では支えてもらい、回数も数えてもらいました。

(下の写真右) どこに移動するののかも教えてもらいました。

7月の行事予定

1	水	一斉登校指導 S4下校 13:15 (6-1のみ 14:35 下校)
2	木	個人懇談① S4下校 13:15
3	金	個人懇談② S4下校 13:15 6年出前授業 (3校時)
6	月	個人懇談③ S4下校 13:15
7	火	個人懇談④ S4下校 13:15
8	水	A4下校 13:45
9	木	A4下校 13:45
10	金	A4下校 13:45
13	月	A4下校 13:45
14	火	A4下校 13:45
15	水	A4下校 13:45
16	木	給食最終日 A4下校 13:45
17	金	1学期終業式 A3下校 11:45
20	月	海の日で休み
21	火	夏季休業 (~8月24日)

教育目標 ○よく考え 主体的に活動する 心豊かな子どもの育成
 ○自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き
 教職員像 こども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
 こどもたちの学びを支える笑顔いっぱいの元気な教職員
 こども像 ○感謝の気持ちを言葉で伝える笑顔
 ○笑顔で登校し、笑顔で下校することも

8月の主な行事

- 10日(月) ~17日(月) 学校閉庁日
- 25日(火) 2学期始業式 A3下校 11:45 ごろ
- 26日(水) A3下校 11:45 ごろ
- 27日(木) 給食開始 A4下校 13:45 ごろ
- 28日(金) A4下校 13:45 ごろ
- 8月31日(月) ~ 通常校時での授業

※予定は変更する場合があります。

【健やかな体の育成】 歯を大切にしましょう

1学期に実施した歯科健診の結果、各学年で「むし歯」がある人の人数は下の表の通りです。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数	15	61	36	50	21	31

本校の例年の傾向として、堺市の他の小学校に比べて、「むし歯」があるこどもの数が多くなっています。また、「むし歯」があるこどもの割合は、学年によって違いがありますが、全体平均は堺市平均の約2倍ほどの数値になります。(※今年度の堺市のデータはまだないため、昨年度のデータと比較しています。また、学年の結果詳細は、「7月ほけんだより」にも掲載します。)

健診結果はすべてのこどもにお渡ししますが、特にむし歯などの疾病がある場合は、夏休みを利用してぜひ受診のうえ、治療してください。

－健診された歯科の先生のお話－

- 乳歯にむし歯がある場合は、「そのうち永久歯に生えかわるから」ということで治療しないケースがあるようですが、それは永久歯にも悪い影響が及ぶ可能性があります。
- むし歯の原因は、日常の歯のケアが十分でない場合が多いですが、これは長期的に見て、大人になってから永久歯を失うことにつながる可能性があります。
- 「永久歯は28本もあるのだから、1本や2本なくなっても、大したことはない」という考えは間違っています。長い進化の過程で、必要があつて28本になったのだから、1本1本がそれぞれの役割を持っています。1本が抜けると、必ず周囲の歯に無理が行き、その歯もいためることとなります。
- 入れ歯になった人に聞くと、ほぼ100%「もっと歯を大事にしておけばよかった」と言われます。また、むし歯になると、もとにもどりません。一本一本の歯を大事にしてほしいです。
- セルフケアだけでは無理があるので、定期的に歯科医院に行くことが大事です。また治療も途中でやめないようにすることも大事なことです。

－「子ども医療費助成制度」について（堺市HPより）－

堺市では、安心してこどもを生き育てることができ、こどもたち一人ひとりがいきいきと輝き、のびやかに育つ環境をつくるとともに、子育て世帯の負担軽減のために、「子ども医療費助成制度」がつけられました。そして、平成31年4月からは、医療費の助成制度の対象が、所得制限なく高校生世代にまで拡充されています。

「子ども医療費助成制度」の内容としては、通院や入院（入院時食事療養費を含む）で医療機関などにかかったときの医療費が助成されます。一部自己負担額は、1医療機関あたり各日500円以内で月2回までです。3回目以降は、自己負担額はなくなります。対象年齢は高校卒業まで（18歳に達した日以後の最初の3月31日まで）となります。

【授業改善による学力と自己肯定感の向上】

こどもに育成したい学習の基盤となる資質・能力

学校の授業などの教育活動はすべて「学習指導要領」という基準に基づいて計画されております。学習指導要領はこどもたちが予測困難なこれからの未来を自分らしくたくましく生き抜くために「どんな力を身につけるべきか」を考え、作られた全国共通の道しるべです。

そのなかに、次のような文言があります。

「各学校においては、こどもの発達の段階を考慮し、**言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力**を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。」

【小学校学習指導要領（平成29年告示）第2 教育課程の編成からの引用】

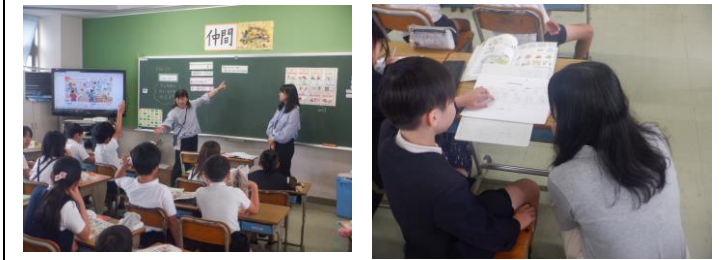


この絵は2018年の平昌（ピョンチャン）オリンピックで女子カーリングチームのハーフタイムの作戦会議をしているところを絵にしたものです。当時は「もぐもぐタイム」と作戦会議しながらおやつやフルーツを食べる姿が有名になったものです。この作戦タイムの様子を見ながら、まさしく学習の基盤となる資質・能力を示しているなど考えていました。

- 言語能力**…外国人のコーチも含め、話し合いをしています。
- 情報活用能力**…タブレットを活用し、データ収集や分析を行っています
- 問題発見・解決能力**…「試合に勝つ」という目標に向けて、みんなで話し合いをしています。

学習の基盤となる資質・能力が身につくよう、本校でも右のような教育活動を行なっています。

○言語能力の育成



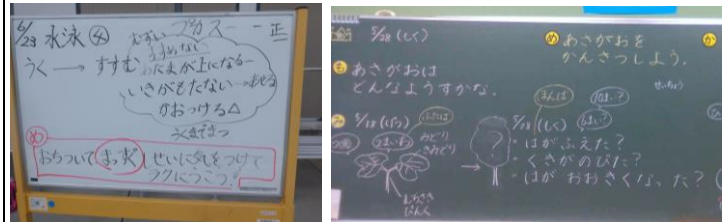
・外国語、外国語活動…NS（ネイティブスピーカー）の方にも来ていただき、できるかぎり外国語で話す学習を進めています。

○情報活用能力の育成



・タブレットの活用…調べたいことをインターネットを通して即座に調べたり、発表することをまとめ、タブレット内でクラス全員で共有したり、前の時間の黒板の写真を撮影しておき、その内容を再度学習したりしています。今後、ドリル学習でも活用をさらに進める予定です。

○問題発見・解決能力の育成



・問題発見や解決を行う学習の充実…一時間の学習のめあて（学習のねらい）を必ず黒板に記しています。その際には、こどもの困り感をクラスで共有し、解決を図っています。

（写真左）水泳学習で、浮くことはできるが、前に進まない、息がもたないという困り感を共有し、めあてにつなげています。

（写真右）2回目のあさがおの観察に向けて、1回目の観察に比べ、葉が増えた？くきがのびた？などのこどもの思いから、観察しようというめあてにつなげています。